

茅ヶ崎同盟教会 教会学校だより

2007年度年間暗誦聖句 (こどもさんびか4番)

あなたがたのうちにはたらきかけて、そのねがいをおこさせ、かつ実現にいたらせるのは神であって、それは、神のよしとされるところだからである。すべてのことを、つぶやかず、うたがわないでしなさい。

それは、あなたがたが、せめられるところのない、じゅんしんな者となり、まがった、じゃあくな時代のただ中であって、傷のない神の子となるためである。あなたがたは、命のことばをかたくもって、かれらの間で、星のようにこの世にかがやいている。(口語訳)

ピリピ人への手紙 2章 13～15節

教会学校では、毎年5月の中ごろ、教会から歩いてすぐの、えぼし岩の見える茅ヶ崎海岸に集まり、砂浜で思いっきり遊ぶビーチプレイデイを開催しています。今年は古川盛弘兄と稲津悠紀姉が担当しました。絵本大好きの会に集う小さなお友だちが大勢参加してくれました。成人科担当の古川盛弘兄のレポートをお届けします。

2007年ビーチプレイデイ・レポート



5月20日(日)のビーチプレイデイの報告をします。参加人数は、大人36名、子ども25名、教師10名、教会関係者7名、合計78名でした。当日の天気は、晴れ時々曇りでまずまずの天候でした。前の週の天気は晴れたり、天気が急に荒れたりして、はたしてビーチプレイデイの日は大丈夫かと心配していましたが、晴れてくれて良かったなと思いました。

午後1時頃から教会には絵本大好きの会の人たちが次々と集まり、サンルームの隣の部屋は一杯となってしまう程でした。

さて、15分には教会を出発、茅ヶ崎海岸までの珍道中が始まります。交通量も多いので、子どもたちを引き連れての移動は少しばかり気を使うところでもあります。道を行く人、レストランで食事している人には何の行列が通っているんだと思ったことでしょう。



海岸に着いて、まずシートを敷いて、ドッジボールのコートを作りました。その間にも、参加者はぞくぞくと集まってきます。教会に集まったのは30人位でしたが、海岸に着いてからは70人以上になっていました。

コートを作っている間に宝探しが始まり、子どもたちは”てんやわんや”、次々とお宝を手に入れる子、また見つからなく必死でわが子のために砂をかきわけるお父さん、お母さんの姿が見られました。

次にしたゲームは、恐怖の玉入れです。何が怖いかというと、カゴを支えるのは棒ではなく人だからです。昨年までは私と森本校長でしたが、今年は、私と真祈ちゃんでした。真祈ちゃんかわいそう。校長先生は役目をうまくかわしたようでした。玉が頭に当たれば頭皮が刺激されて良さそうなのに（爆笑）。そして合図



と共に玉入れ合戦が始まり、私の想像をはるかに越える壮絶な玉入れが始まりました。結果としては白組 2 勝、紅組 1 勝で、白組の勝利となりました。勝った方も負けてしまった方も満足した様子でした。



その後、ドッジボール大会をしたり、ビーチフラッグをしたりと楽しい時間を過ごすこととなります。ドッジボールでは、威勢のいい男の子たちが大人たちと闘っていました。ママさんドッジボールもあり、子どもたちの大人たちも我を忘れてはしゃぎまくっていました。

ビーチフラッグでは、フラッグを取れた子どもたちにはプレゼントをあげたりし、砂だんごゲームをしたりしてご機嫌な子や、砂だんごを落としてしまって泣き出してしまいう子もいました。泣き出してしまいう子にはフォローを悠紀さんがしていました。

最後にしたゲームは、みんなで手をつないで大きな円を作って、手を上げたり下げたりして、中にいる子どもを円から出さないようにするゲームでした。大きな笑い声が円の中に飛び交って楽しいゲームとなりました。

最後にしたゲームは、みんなで手をつないで大きな円を作って、手を上げたり下げたりして、中にいる子どもを円から出さないようにするゲームでした。大きな笑い声が円の中に飛び交って楽しいゲームとなりました。

教師として、今年でビーチプレイデイを 3 回担当することができました。毎年、天候も良く、また集まってくる人数も大勢いて、わいわいがやがやと楽しい時間が過ごせます。開催当日まで神さまに祈り続けていたので、良かったのかもしれない。神さま本当にありがとうございます。来年もまた、楽しいビーチプレイデイが行われるようによろしくお願いします。



最後にいつも報告が遅れてしまってすみません。森本校長にご迷惑をおかけしています。いつも誤字脱字を訂正してホームページに掲載してもらっています。ありがとうございます。(古川盛弘 記)

編集後記 (June,10th. 2007 Updated)



今年もビーチプレイデイは大変暑い一日となりました。海岸は夏のように人でいっぱいでした。今回は小さなお友だちの参加でかわいく盛り上がりました。はやく教会学校に通ってくれる日が待ち遠しいです。今回の責任者で成人科担当の古川兄の人柄のにじみ出る楽しいレポートをお届けしました。今年も夏休みに入ると奥多摩での夏期学校が計画されています。今度は海辺から緑と清流の溪谷での楽しいプログラムがみなさんをまっています。(森本)